※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「文学国語」（大修館書店）						
副教材等	「１日１講文学」（三省堂） 「頻度順　入試漢字の総復習　三訂版」（三省堂） 「イラストとネットワーキングで覚える　現代文単語　改訂版」（いいずな書店） 「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業においては、課題に対して真摯に取り組み、周囲の人との協同活動で、自らを高めましょう。
・様々な文章を読みながら、多面的な考えに触れ、自身が感じたことや考えたことを、より適切に表現することができるよう、学びを深めましょう。
・家庭学習の貴重な時間を計画的に過ごすことで、自身の学びをより厚みのあるものにしましょう。
・読書を通じて、特に著者の思考、表現の工夫について学びましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、理解を深めることができるようにする。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使用することができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。また、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 「書くこと」において文章の構成や展開や、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。また、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	小説(五)―虚構の可能性 ［教材］ 美神	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 c：知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ノート
	随想・評論(一)―想像と共感 ［教材］ 飛ぶことを知っている魂	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができる。 c： 粘り強く言葉と感覚との関係について、筆者の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ノート
	詩・短歌・俳句―韻文の世界 ［教材］ きみの呼びかけに 短歌十三首 引く十五句	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 b[読]：他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察することができる。文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。 c：知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ノート
	小説(二)―語りの世界 ［教材］ 山月記	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈してい	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	

※令和４年度以降入学生用

		る。作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。			観察 ノート
	小説(三)―想像を広げる ［教材］ 山椒魚	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	観察 ノート
二学期	小説(四)―記憶の継承 ［教材］ こころ	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b［読］：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	観察 ノート
	小説(二)―寓意の世界 ［教材］ 赤い繭 掟の門	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]:文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	

※令和４年度以降入学生用

		理して、表現したいことを明確にすることができる。 c:粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。			観察 ノート
	小説(四)―時代と表現 ［教材］ 舞姫	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c:進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	観察 ノート
三学期	小説(五)―見知らぬ世界 ［教材］ 伊豆の踊子	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[書]:文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫することができる。文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 c:進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。	小テスト	ワークシート	観察 ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※令和４年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　２５　　）時間

・読むこと　…　（　　８０　　）時間